

<平成 25 年度>

環境保全部の取り組み実績

環境総務課

淀川衛生事業所

環境衛生課

産業廃棄物指導課

環境公害課

■ 基本方針 ■

環境保全部では、「みんなでつくる、環境を守りはぐくむまち 枚方」を実現するため、地球環境から市民の身近な環境まで、幅広く様々な環境保全施策を実施しています。

平成 25 年度は、3 月に策定した枚方市地球温暖化対策実行計画に基づき、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた施策や、省エネルギー・省 CO₂ 活動を促進するための施策に重点的に取り組みます。

また、平成 26 年 4 月の中核市移行に伴い権限移譲される産業廃棄物業務等をスムーズに実施するため、大阪府との連携を強化しながら、情報収集と制度、組織体制の整備を進めます。

実績

- ・出力 600kW の大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の整備や住宅用太陽光発電設備設置への補助など、省エネルギー・省 CO₂ 活動を促進するための施策に取り組んだ。
- ・中核市移行に向けて、府との協議や部内研修を行うとともに、条例や組織体制等の整備を進めた。

I 重点施策・事業

◆地球温暖化対策・環境保全施策の推進

・太陽光発電の推進

淀川衛生事業所の敷地内に、出力 600kW の大型太陽光発電設備を 7 月から稼働させ、広く市民への啓発に利用するとともに、売電収益を温暖化対策に活用します。

また、住宅用太陽光発電システムへの設置補助に引き続き取り組みます。

・枚方市環境マネジメントシステムの運用開始
市役所における環境保全活動の一層の推進とさらなる事務の効率化を図ることを目的に、本市独自の新たな環境マネジメントシステム(H-EMS)を運用します。

・ヒートアイランド対策

本市は全国的に見ても夏の気温が高く、特に枚方市駅周辺はヒートアイランドの影響もあり、体感的にも大変暑くなっています。

そこで、環境省が平成 25～27 年度に行う「ヒートアイランド現象に対する適応策モデル事業」において、「岡本町公園及び京街道の一部におけるヒートアイランド対策」を実施します。25 年度は暑熱環境の調査を行うとともに、地元自治会と協議し、取り組み内容を検討します。

実績

- ・7 月から、大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の運用を開始し、3 月末までに 515,178kWh の発電を行った。(CO₂削減量 231,830t) また、市民(参加者 29 名)や伊加賀小学校児童(4 年生全クラス)を対象とする見学会を開催するとともに、各種団体等を対象とする見学会(参加者 150 名)を開催した。
- ・住宅用太陽光発電システムへの設置補助については、11 月までに 529 件の補助を行い、当初予算を上回る申し込みに対応するため、26 年 1 月から追加補助を行い、さらに 193 件の補助を行った。(722 件 3,033.71kW 分の補助)
- ・4 月から、本市独自の環境マネジメントシステム(H-EMS)の運用を開始した。
- ・環境省の「ヒートアイランド適応策モデル事業」に基づく試行事業として、岡本町地区で古井戸周辺の再整備や一斉打ち水、暑熱環境調査などを実施した。

◆やすらぎの杜の火葬炉増設

火葬件数が増加していることを踏まえ、今後予定される火葬炉・公害防止設備の大規模補修への対応と利用者の利便性の向上を図るため、現在 8 炉で運用している火葬炉について、当初計画していた残る 4 炉の整備を行います。

実績

- ・新たな火葬炉 4 炉の整備を行い、2 月に運用を開始したことで、受入件数を制限することなく、補修工事を完了することができた。

◆中核市への移行準備

中核市移行に伴う大阪府からの移譲事務である産業廃棄物、浄化槽、公害関係業務の執行体制を整備するとともに、条例等の整備と知識、技能の習得など、必要な準備作業を進めます。

実績

- ・中核市移行に向け、必要な条例の整備を行い、移譲事務について必要な知識、技能の習得を行うなどの準備作業を進めた。

◆公害防止条例の見直し

本市公害防止条例について、公害関係法例等との整合を図るとともに、市の条例として必要な規制内容とするため、工場に対する規制基準や地下水規制の見直しなどに取り組みます。

実績

- ・市公害防止条例の基準等の見直しを行う改正の手続きを進めるとともに、事業者等への説明会により周知を図るなど、平成 26 年 4 月の円滑な施行に向けて取り組んだ。

◆生活排水対策の推進

し尿等を処理する淀川衛生工場について、下水道整備の進捗状況を踏まえ、し尿・浄化槽汚泥の搬入量の推移を見極めつつ、老朽化した施設の更新を計画的に進めるとともに、将来的な処理方法のあり方の検討を進めます。

また、生活排水の適正処理を推進するため、汲み取りから公共下水道への接続促進や、下水道未整備区域における市民向け生活排水学習会の開催等の啓発を強化します。

実績

- ・今後の淀川衛生工場における、し尿等の処理方法について、「なわて水みらいセンター」への放流費などに関する大阪府との協議により、処理方式を現施設の改造による希釈放流方式に変更する方針を定めた。
- ・下水道供用開始区域内の汲み取り世帯に対して、公共下水道への接続依頼文書の配布（年 2 回）や訪問時に接続依頼を行った。（780 世帯の内、88 世帯が新たに公共下水道へ接続された。）
- ・市民向け生活排水学習会の開催等の啓発を 8 回行った。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	公共下水道整備の推進・普及によりし尿等の処理量の減少が進む中、関係部署と連携して大阪府及び関係自治体との協議を進め「第 2 次枚方市生活排水処理基本計画」に基づき、平成 27 年度を目標に、淀川衛生工場における今後の施設の方向性を決定する。 平成 25 年度は、更新・修繕工事について優先度を見極めて実施することなどにより、工場のさらなる効率的な維持管理に努める。

実績

- ・今後の淀川衛生工場における、し尿等の処理方法について方針を定めた。（前述のとおり）
- ・淀川衛生工場の維持管理について、今後の施設の方向性を見極めながら、優先度を考慮し、効率的な維持管理に努めた。

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	NPO 法人環境ネットワーク会議における中期的な「経営プラン」の策定に向け、平成 25 年度は、今後 5 年程度を見据えた中期的な視点で、活動内容とそれに必要な人員や経費、それらに要する会費収入等の試算を求める。なお、平成 25 年度から環境情報コーナーの運営委託にあわせて、市補助事業を精査し、補助金を 32%削減する。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人環境ネットワーク会議において、中期的な「経営プラン」の策定に向け、検討を進めるとともに、市補助事業を見直し、補助金を 32%削減した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの確保及び業務の継続性、効率性の視点を踏まえて、引き続き適正な配置基準を検討する。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の職員配置基準の見直しに向け、技能労務職のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。 	

改革課題	取り組み内容・目標
39. 業務委託の拡大	市内の河川・地下水の水質汚濁状況の監視業務について、測定項目や測定頻度を見直すとともに、採取した水の分析業務を民間検査機関等へ委託する。(平成 25 年 4 月実施)
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川、地下水及び工場排水監視業務について、測定項目や測定頻度の見直しを行うとともに、4 月から水質分析業務を民間検査機関へ委託した。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
地球温暖化防止対策事業	「枚方市地球温暖化対策実行計画」に基づき事業を実施し、市域の温室効果ガス排出量や施策事業の進捗状況等を定期的に把握して、対策の効果と有効性を検証する。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業計画に基づき、地球温暖化対策を実施するとともに、本市独自の環境マネジメントシステム（H-EMS）の取り組みとして、四半期ごとに進捗状況等を確認した。基準年度である平成 23 年度と比較すると、温室効果ガス排出量が 2.2%減少した。 ・8 月の環境審議会において、前計画の進捗状況や事業計画について報告し、市ホームページで公表した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
エコオフィス推進事務	ISO14001 を卒業し、本市の組織体制や活動内容に適した環境マネジメントシステム（H-EMS）を、平成 25 年度から運用する。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月から、本市独自の環境マネジメントシステム（H-EMS）の運用を開始した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
まち美化啓発事業	路上喫煙の制限について、市ホームページ、広報紙等による啓発を継続するとともに、事業所訪問による従業員への啓発依頼キャンペーンを実施し、事業者の対応状況を検証する。 犬のふん対策について、放置防止の啓発を継続するとともに、効果の大きい、住民自らによる地域内の啓発キャンペーンとふんの処理を内容とする、モデル事業の普及を図る。

実績

- ・路上喫煙の制限の啓発を、市ホームページ、広報紙記事、FMひらかた等により実施した。また、事業所訪問による従業員への啓発依頼キャンペーンを昨年度に引き続き実施し、事業者の対応状況を検証したところ、事業所内での周知がされていることを確認した。
- ・自治会等地域への犬のふん放置防止啓発看板の配布を行うとともに、広報紙や枚方みらいトークで犬のふん放置対策モデル事業の周知や募集を行った。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
職員提案制度への積極的な参加	職場研修の一環として、職員が様々なアイデアを出し合う場を設けることにより、新たな気づきを引き出し、熟度の高い施策につながる提案ができるよう、取り組む。

実績

- ・個人だけではなく組織的な取り組みを促すため、職員提案制度への参加をテーマにした部内研修を6月に開催した。
- ・第21回職員提案に部内から14件の提案を行い、奨励賞1件、努力賞3件を受賞した。

テーマ	取り組み内容・目標
窓口・電話対応の改善	窓口や電話対応におけるトラブル事例と改善策を登録し、部内の共有化を図ることにより、市民満足度の向上を図る。

実績

- ・窓口や電話、現地での対応時のトラブルや対応に困った事例、改善に向けた提案を部内で募り、事例集に取りまとめた。
- ・取りまとめた事例集を部内各課（所）の職員に周知し、共有化を行った。

テーマ	取り組み内容・目標
ITを活用した業務改善の推進	庁内ネットワークシステムの有効活用策を検討し、情報の共有化と省力化を図るとともに、職員のIT能力向上に向けた部内研修を行う。

実績

- ・部で共有する電子情報を管理する「Rドライブ」について、部内職員が円滑に使用できるように、記録する情報と記録方法を整理し、運用と管理方法を部内でルール化した。
- ・2月に導入された新たな庁内ネットワークシステムによる情報共有の円滑化を図るため、新機能の利用方法と活用事例についての部内研修を実施した。

●その他の実績

実績

- ・浸水被害発生後の迅速な消毒作業の実施を目的に、事業者団体と委託作業についての協定を5月に締結し、9月の台風18号に伴う大雨において協定に基づく委託作業を実施した。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 24 年度事務事業総点検の結果を踏まえ、し尿処理に関わる委託業務の発注方法の見直しや事業の統合により 658 万円、環境マネジメントシステムの認証取得の見直しにより 111 万円の経費縮減を実現しました。

実績

- ・し尿処理に関する委託業務に関して、事業の統合を行うなど、発注方法の見直しを行った。
- ・本市独自の環境マネジメントシステム(H-EMS)を運用し、事務の効率化を進めるとともに、環境保全の取り組みを推進した。

- ◆NPO 法人環境ネットワーク会議について、平成 25 年度の新規事業として環境情報コーナーの運営を委託する一方、補助金対象事業を見直し、交付額を減額しました。

実績

- ・環境情報コーナーにおいて、省エネナビの貸し出しやエコドライブシミュレーターを用いたエコドライブの普及啓発を行った。

- ◆水質検査業務の民間委託により、公害防止のための事業所指導や調査、公害苦情相談の充実を図ります。

実績

- ・水質検査業務を行っていた職員を規制指導や公害苦情相談業務に配置し、当該業務を充実した。

- ◆市施設への太陽光発電設備の設置に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用をめざします。

実績

- ・サプリ村野と 6 つの小学校に太陽光発電設備と蓄電池を設置するため、府補助金の申請手続きを進めた。

- ◆大型太陽光発電設備（7 月稼動予定）の売電収益として、初年度である平成 25 年度は約 350 万円を見込んでいます。

実績

- ・平成 25 年 7 月から運用開始した枚方ソラパの売電収入は、3 月末時点で約 2163 万円となり、リース料を差し引いて約 584 万円の収益を得た。

- ◆やすらぎの杜の市外利用料金の改定により、年間 800 万円の増収を見込んでいます。

実績

- ・やすらぎの杜の市外利用料金について、条例を改正し、料金改定を行った。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆部の運営方針に基づく組織目標の達成に向けて、定期的な部内会議により情報共有とスケジュール管理を行います。

実績

- ・毎月の月初めの部内会議において各項目の進行管理を行い、共有化と目標達成に向けての部内調整を行った。

- ◆中核市への移行に伴う権限移譲と業務再編に向け、関係機関・部署との協議調整を組織的に進めます。また、研修の実施や職員相互の学習を通して、新たなノウハウを蓄積しつつ、職員の業務執行能力の向上を図ります。

実績

- ・中核市移行に向けて、府との協議や部内研修を行うとともに、制度や組織体制の整備を進めた。

- ◆部の危機管理マニュアルの改訂に向け、浸水や地震など、災害別の対応策や人員体制の検討を進める中で、職員の災害対応にかかるスキルアップを図ります。

実績

- ・地域防災計画に基づき当部が担当する災害時の火葬やし尿処理等の業務について、マニュアルの改訂作業を進めた。
- ・部の職員全員を対象に、大規模地震災害を想定した図上訓練を実施した。

- ◆河川への油流出等の環境事故や災害の発生時、イベント開催や季節的な繁忙期などに、部内が連携し、相互応援する体制を整えます。

実績

- ・部内全部署の職員が参加する、油流出を想定した河川事故対応に関する実務研修（訓練）を実施した。

- ◆日常業務における教育訓練にとどまらず、朝礼やミーティングの場を活用することにより、互いに学び合う職場風土を築きます。

実績

- ・各課で朝礼やミーティングの場を活用し、職務に関する情報提供や共有化を行った。

- ◆公用車の運転業務に従事する職員が多いため、継続的な研修を実施し、安全でエコな運転を定着させます。

実績

- ・公用車の安全でエコな運転を目指し、研修会を2回実施した。

V 広報・情報発信

- ◆7月開設予定の大型太陽光発電設備を活用した情報発信として、PR用スライドの作成や、一般見学会の開催、市民向け出前講座のメニューへの追加、保育所（園）・幼稚園・小中学校の見学の受け入れなどを行います。

実績

- ・市民見学会や伊加賀小学校（4年生全クラス対象）、各種団体等に対する見学会を開催した。

- ◆サプリ村野にリニューアルオープンした「環境情報コーナー」において、環境ネットワーク会議と協力して、環境セミナーの開催や省エネナビの貸出し、エコドライブの講習などを行うことで、省CO₂活動をPRします。

実績

- ・環境情報コーナーにおいて、環境ミニ講座を開催（5回）した。また、エコドライブシミュレーター（利用者268名）を設置するとともに、省エネナビの貸し出し（9名）を行った。

- ◆ふるさといきもの調査で明らかになった市域の生きもの自然環境やその豊かさ、多様さについて、説明会を開催するなど市民へのPRに努めます。

実績

- ・1月18日開催の生物多様性を考える講演会において、ふるさといきもの調査の報告会を行った。（参加者62名）
- ・サプリ村野の環境情報コーナーにおいて調査結果のパネルを展示した。

- ◆微小粒子状物質（PM2.5）をはじめとした、市民の関心が高い環境関連の情報を即時に発信できるよう努めます。

実績

- ・環境データ集を公表するとともにPM2.5の自動測定機を王仁公園局に増設し、市ホームページの「トピックス」にPM2.5の情報を掲載した。あわせて、監視測定結果等を随時ホームページで公表した。